

安田松慶氏 旭日小綬章受章祝賀会

安田松慶氏（安田松慶堂代表取締役会長）の旭日小綬章受章祝賀会が二月二十一日、午後四時半より、帝国ホテル本館四階桜の間で開催された。当日は仏教界、宗教用具業界、関係各位など約百二十名が出席、安田氏の栄誉を祝した。

安田氏は、昭和十四年東京都出身、昭和六十一年より七世安田松慶を襲名し、安田松慶堂社長に就任。平成九年より東京宗教用具商業協同組合理事長を歴任。平成十二年より四期にわたり、全日本宗教用具協同組合理事長を歴任。全宗協においては「仏事コーディネーター資格制度」「こんな仏壇あったらいいなコンテスト」「お仏壇俳句コンテスト」などさまざまな事業活動にかかわり宗教用具業界の発展に尽力した。東宗協においては、日本仏教界に東日本大震災の義援金を贈呈、安田氏は、仏教界と宗教用具業界の接点や交流の重要性を促しており、仏教の普及にも視野を広げている。安田松慶堂においては、東京都の伝統工芸品・東京仏壇の販売や寺院仏具の施工・修復など幅広い業務の推進に力を注いだ。平成二十四年十二月には子息の安田元慶氏に社長の座を譲られ会長に就任した。

来賓の挨拶につづき、受章者謝辞として安田松慶氏は「全宗協が設立されたのは平成元年でした、私は三代目の理事長ですが、初代の山田鍊一氏（故人）、二代目の山中文和氏（故人）、私はこの二人のご指導を頂きました、この二人のおかげで全宗協の基礎が築かれたと思っています。そして多くの人の協力が伴い、数々の事業活動が展開され今日に至りました。これは当時から皆様のお力添えだと思いき感謝しております。私にとりましてこれが初めて最後の晴れの舞台だと思っています。」と受章の喜びを述べた。



挨拶する安田松慶氏



祝賀会には多くの人が訪れ安田氏の栄誉を祝した